

地域移行におけるピアの活用について

中野区「地域活動支援センターせせらぎ」における事例

1 ピアスタッフ（1名を職員として採用）

地域活動支援センターの職員と共に精神科病院に出向き、自身の体験を説明しつつ、対象患者の話を聞く等の支援を担う。当事者ならではの共感や動機付けの活動を行っている。

2 ピアサポーター（無償ボランティアとして約270名が登録。区外の方も含む。）

地域移行の対象者との直接的な関りは担わないが、ピアレーターを通して入院患者と文通を行う。当事者目線でのやり取りが可能。

3 その他

- (1) 地域活動支援センター内で行うピアカフェやピア研修等でも活躍。
- (2) 精神障がい者の地域移行支援におけるピアサポートの活用は重要視されており、その早急な整備を求められている。（東京都精神障害者地域移行支援連絡会議の議題にもなっている。）